ミニシンポジウム記録

日本の野生メダカの保全
—個体群減少と遺伝的攪乱—北川忠生^{1*} (近大農), 小林牧人² (ICU)

Conservation of the wild medaka in Japan
—decreasing of populations and genetic disturbances—
TADAO KITAGAWA^{1*} AND MAKITO KOBAYASHI²
¹*Faculty of Agriculture, Kindai University, Nakamachi, Nara 631-8505,* ²*Department of Natural Sciences, International Christian University, Mitaka, Tokyo 181-8585, Japan*

はじめに

野生下では絶滅の危機に瀕する一方で、観賞魚、実験生物、教育教材としての利用のために増殖されている水田のシンボルフィッシュ「メダカ」。養殖されたメダカや他地域からもたらされたメダカが、無配慮な取り扱いや、誤った認識による保全活動による放流などにより自然水域へ流出し、その地域に本来生息している野生のメダカと交雑することによって生じる遺伝的攪乱が全国規模でおこっている。日本のメダカを本来の姿で守っていくためには、現在の実態を正しく把握するとともに、野生のメダカと養殖品種のメダカをしっかりと区別して扱っていく必要がある。本シンポジウムでは、現在、国内で起きている問題とその解決に向けた提言を実際の研

究事例、実践事例とともに紹介し、議論した。

なお、本ミニシンポジウムは、奈良県および奈良県教育委員会の後援により実施された。

〈プログラム〉

日時・場所：平成 28 年 9 月 8 日（木）13：00–16：20
第 7 会場

開会の挨拶 北川忠生（近大農）

座長：細谷和海（近大農）

1. 日本の野生メダカが抱える諸問題
北川忠生（近大農）
2. メダカの繁殖生態と保全
小林牧人（ICU）
3. メダカにおける遺伝的攪乱の現状
中尾遼平（近大農）

座長：小林牧人（ICU）

4. 東日本大震災後の仙台市における野生メダカの保全
に向けた取り組み

棟方有宗（宮城教育大）・

田中ちひろ（八木山動物公園）・

小林牧人（ICU）

5. メダカの保護への提言
細谷和海（近大農）

総合討論

座長：北川忠生（近大農）

開会の挨拶 小林牧人（ICU）